

復員廳第二復員局公報

第三三號

昭和二十一年九月三日(火)
復員局文書課課長

令 達

復二第二〇八號

元軍艦 鳳 翔

右表特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年八月三十一日

復員廳 總裁

通 牒

復員人扶第一六號

昭和二十一年八月十五日

局長

第二復員局人事部長
第二復員局經理部長

各地方復員局人事部長
各地方復員局經理部長

戰歿者遺族ニ對スル給與金等ニ關スル件通牒

首題ノ給與金(別表)ノ通りデアル。コレハ他ニ支障ノナイ限り、遺骨傳達ノ際遺族ニ支給スルコトトシ、左記了知ノ上、然ルベク取計ハシメテ。

補 記

復員廳第二復員局公報 第三三號 昭和二十一年九月三日

- 一 各人事部長遺骨傳達式名簿作成ルベク傳達式ノ一月前マデ當該地方復員局經理部長(東京都ニアリテハ第二復員局經理部長)ニ送付シ、其ノ寫ヲ第二復員局人事部長ニ夫々送付スル。但シコノ名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト。
 - (イ) 給與金ノ種別、金額
 - (ロ) 戰歿者ノ所屬、官職階、氏名(入籍番號)
 - (ハ) 戰歿年月日
 - (ニ) 戰歿ノ場所
 - (ホ) 本籍、遺族ノ現住所、戰歿者トノ續柄及ビ氏名
 - 二 各經理部長ハ給與金等ヲ支給シタトキハ、前號ノ名簿ヲ代用シテ、支給済調書(支給年月日記註)トシテ、コレヲ第二復員局經理部長ニ送付スル。
 - 三 本件ノ實施ハ復員廳ノ發足ニヨリ、第一、第二復員局ノ取扱ヒ振リノ整一ヲ期スルト共ニ、給與金ノ早期解決ヲ計ツテ、極力遺族ニ満足ヲ與ヘル趣旨ニヨルモノデアル。
 - 四 給與金ノ資格調査ニ關シテハ、左ノ各號ニ留意ノ上、コレヲ處理スルコト。
- (イ) 當部扱ヒノ戰歿者ニ對スル死亡賜金及ビ葬祭料ハ概ネ支給セズ。

0228

給濟デアル。
 (ロ) 遺族出頭旅費ハ遺骨傳達濟ノモノ又ハ特別賜金願書傳達濟ノモノニツイテハ、本年五月二復入事務局扶賜金第一九四號ニヨツテ、從來通り處理スルコト。
 五 本通牒ハ昭和二十一年八月一日ヨリコレヲ實施スル。
 六 戦歿者以外ノ死歿者デ別表ノ給與金ヲ支給スル資格者ニ對シテハ、本通牒ヲ準用スル。

(別表)

種別	金額	記事
給與金		
死亡手當	二七〇圓	昭和二十一年八月第一七番電參照
葬祭料	四〇圓	右同(囑託等ヲ含ム)
遺族出頭旅費	二七〇圓	昭和二十一年八月第四番電五月二復入事務局扶賜金第一九四號參照

第一七番電 (昭和二十一年八月十七日發電濟)
 發 第二復員局長
 宛 部内一般
 死亡賜金及葬祭料ニ關スル件

今次ノ戦争ニ關シ死歿シタ者ノ遺族ニ支給スル死亡賜金(兵ハ死亡手當)ハ一率貳百七拾圓、葬祭料(又ハ埋葬料)ハ一率四拾圓ト定メラレ昭和二十一年七月二十九日以後適用サレル。

第一八番電 (昭和二十一年八月十七日發電濟)
 發 第二復員局經理部長
 宛 部内一般
 死亡賜金及葬祭料ニ關スル件

今般第一七番電(十七日)ヲ以テ死亡賜金及葬祭料ノ支給額ヲ定メラレタガコレガ支給ニ當ツテハ遺族出頭旅費ト同ジ要領ニヨラレタイ。

第四番電 (昭和二十一年八月十二日發電濟)
 發 第二復員局經理部長
 宛 部内一般
 遺族出頭旅費支給等ニ關スル件

一 今次戦争ニ際シ死歿シタ者ノ遺族ニ對シテハ昭和二十一年八月一日以降遺族出頭旅費トシテ貳百七拾圓(特別賜金ヲ賜與セラレナイ遺族ノミ)ヲ遺骨傳達式ノ經費ヲ支辨スル地方復員局經理部(東京都ニアリテハ第二復員局經理部會計課)ニ於テ支給スルコトガデキル。

二 前號ノ給與ハ自由支拂トシテ差支ナイ。

三 第一號ノ給與ハ遺骨傳達式ノ際地方世話部ヲ經山シテ遺族ニ交付スルノマ例トスル。

0229

四 第一號ノ給與ヲ支給シタトキハ金額、支給年月日、死歿者官職、氏名、受給者(死歿者トノ續柄及ビ氏名)ヲ記載シタ名簿ヲソノ翌月ノ末日迄ニ第二復員局經理部(主計課)ニ提出スルモノトスル。

五 昭和二十一年第二三二七五四番電(六月十二日公報)ハ昭和二十一年七月三十一日限り之ヲ廢止スル。

二復人事局扶賜金第一九四號

昭和二十一年五月三十一日

第二復員省人事局扶助課長

各地方復員局人事部長殿

特別賜金未賜與者ニ對スル遺族出頭旅費支給取扱ノ件照會

首題ノ件ニ關シ五月二十三日附第一七五四番電ヲ以テ通牒セラレタル處、之ヲ取扱方ニ付テハ左記御了知ノ上處理願ヒタイ。

記

一 第一七五四番電第二號ニヨル遺族出頭旅費受給資格者名簿ハ三通トシ、死歿者特別賜金賜與規程第八條但書該當者ニシテ特別賜金受給資格者調書ヲ作成シアルモノニ付テハ之レヲ添附シ、一通ヲ省略セラレ差支ヘナイ。コノ場合ニ於ケル名簿ニハ死歿年月日及ビ死歿ノ場所ハ記載ヲ要シナイコト。

二 特別賜金願書類ヲ第二復員大臣ニ進達濟ノモノニ付テハ前號ノ名簿ハ更メテ送付シナイコト。

三 本取扱ハ航空又ハ潜水艦保護賜金、一時賜金未賜與者ニツイテモ之ヲ準用スル。

○雜款

○郵便物發送先

特別輸送艦	海第一〇七號	福岡市海岸通り博多運航部氣付
同	雪風	同
同	海第一一八號	佐世保市福石町
同	同	佐世保地方復員局艦船運航部氣付
同	雌竹	同
同	海第一五六號	佐世保郵便局氣付
同	掃海母艦	新南
同	特別輸送艦	海第一六號
同	同	海第二〇五號
同	同	鹿兒島市住吉町海岸通
同	同	鹿兒島運航部氣付
同	同	輪第二〇號
同	同	岡山縣玉野市玉
同	同	三井造船所庶務課氣付
同	同	花月
同	同	吳市
同	同	吳地方復員局艦船運航部氣付
同	同	福岡市海岸通り博多運航部氣付
同	同	福岡市荷柳町一六一
同	同	博多上陸地連絡所氣付

復員廳第二復員局公報 第三三號 昭和二十一年九月三日

0230

復員廳第二復員局公報

第三四號

復員廳第二復員局長 附 第九月六日(金) 復員廳第二復員局 文書課 21

○令 達

復二第二二三號

復員廳分課規程中次ノヤツニ改正スル。

昭和二十一年九月五日

復員廳 總裁

別紙第二第二二十八條ノ表中舞鶴地方復員局ノ項掃海部ノ關

「教養」ヲ削

ス(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第二三五號

復員廳第二復員局及地方復員局定員表中次ノヤツニ改正スル。

昭和二十一年九月五日

復員廳 總裁

舞鶴地方復員局ノ項中復員事務官ニ級ノ欄「二五」ヲ「二四

六」ニ改メ、

「二四」ヲ「二〇九」ニ改メ、

○通 牒

復員廳第二復員局公報 第五四號 昭和二十一年九月六日

復二第二三四號

復員廳地方復員局定員表(内譯)中次ノヤツニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月五日

復員廳第二復員局長

舞鶴ノ部中教養掃海部ノ項ヲ削リ「二五六」ヲ「二四六」ニ、

「三八九」ヲ「三七二」ニ、「八八七」ヲ「八七五」ニ、合計ノ

項「一、〇八五」ヲ「一、〇七五」ニ、「三、三一四」ヲ「三、二九

六」ニ、「六、二〇〇」ヲ「六、一八八」ニ改メ、

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第二三六號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤ

ツニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月五日

復員廳第二復員局長

舞鶴地方復員局ノ項中「五」ヲ「〇」ニ、「二六五」ヲ「一四七」

ニ、計ノ項中「一七三」ヲ「一六八」ニ、「一、〇六六」ヲ「一、

〇四八」ニ改メ、

(參照 六月十九日第二復員局公報)

八一

0232

二復入扶第一九號ノ一九四
昭和二十一年八月三十一日

復員廳第二復員局人事部長

復員廳第二復員部内各廳長(殘務整理諸官)殿

戦犯者(容疑者ヲ含ム)名簿作製送付ニ關スル件照會

元海軍關係軍人軍屬デ戦犯者トシテ現ニ拘留(抑留)サレテキル者又ハ裁判確定(死刑執行者ヲ含ム)シタ者ニ對シ、報告又ハ通報ヲ接受シタ各部及ビ現地ヨリ歸還シテ殘務整理中ノ責任者ハ、別表様式ニヨリ、右該當者ノ名簿ヲ至急作製シテ、第二復員局人事助課及ビ各地方復員局人事助課ニ、寫ヲ第二復員局總務部總務課及ビ調査部ニ夫々一部宛直送サレタイ。追ツテ現ニ名簿ガ作製シテアル向ハ、ソノ名簿ヲ代用サレテ差支ナイ念ノタメ。

(別表添)

二復入業第八號ノ七八

昭和二十一年九月五日

復員廳第二復員局人事部長

關係各廳長 殿

業績事務取扱ニ關スル件照會

二復入業第八號ノ七〇(七月二日公報参照)ヲ以テ通牒ノ首題ノ件申(様式第一)備考四ノ次ニ左ノ一項ヲ追加スル。

記
五・二階級進級者ハ「(二階級)」ト、特進シナイモノハ「(特進セヌ)」ト夫々特進官等欄ニ記註スルコト

○ 雜 款

○ 轉官

六月十五日	地方技官(三)ニ轉官	海軍技手	中根 重利
同	厚生技官(一)ニ轉官	海軍技師	鈴木 信
同	地方事務官(三)ニ轉官	海軍書記	堀 正太郎
同	防務監吏(三待)ニ轉官	同	橋爪 正義
同	地方技官(三)ニ轉官	海軍技手	佐伯 義雄
同	同	同	西尾 重藏
同	同	同	犬飼 一也
七月十五日	大藏事務官(三)ニ轉官	海軍司政官	篠塚 繁
同	地方事務官(三)ニ轉官	海軍書記	石黒 清二
同	同	同	内山 正年

0233

復員廳第二復員局公報號外

位勳

昭和二十一年九月五日
第二復員局文書第 9 號

○ 敘勳

○ 昭和二十年十一月二十九日發令

敘勳一等授瑞寶章

海軍中將 小林 謙五
海軍少將 山森龜之助
堀内 茂忠
鹿目 華輔
小川 詢吉

通各

敘勳二等授瑞寶章

海軍軍醫少將 喜安 貞雄
海軍技術大佐 稱井 幸十
海軍中佐 成尾 浩
永久 熊亮
下井田 萬作
海軍技師 櫻井 芳次郎

通各

敘勳三等授瑞寶章

海軍少佐 安藤 信雄
同 吉積 政一
同 山崎 利雄
同 星子 直明
同 上野 保兵衛
海軍軍醫少佐 堀 廣介

通各

敘勳四等授瑞寶章

海軍大尉 池田滿次郎
海軍少佐 河野 知利
海軍少佐 原野 政德
海軍少佐 原口 住治
海軍少佐 奥村 泰助
海軍少佐 今井盛太郎
海軍少佐 堤 清

通各

敘勳五等授瑞寶章

海軍技術少佐 藤井 清規
海軍技術大尉 岡崎 沼夫
海軍技師 森川 親雄
海軍技師 原口 九
海軍技師 及川 富治
海軍理事官 宮田 龜次
海軍少佐 駒林 力
海軍軍醫少佐 笹生 謙三
海軍少佐 石田 鴻一
海軍主計少佐 宮入 敏明
海軍大尉 山下 敏明
海軍大尉 島海 忠彦
海軍大尉 稻本 正六
海軍大尉 熊谷 正六
海軍大尉 平田 信男

通各

敘勳六等授瑞寶章

海軍軍醫大尉 鈴木 千代吉
海軍主計大尉 川北 第一
海軍主計大尉 小室 公夫
海軍技師 須田 孝
海軍技師 松永 久男
海軍技師 中里 久夫
海軍技師 盛岡 良吉
海軍技師 松尾 廣三
海軍技師 吉田 秀一
海軍技師 宮武 盛之
海軍技師 神宮 國夫

0235

復員廳第二復員局公報號外 (位勳)

<p>授勳五等授瑞寶章 海軍技術中佐 中村 進</p> <p>授勳四等授瑞寶章 海軍軍醫中佐 清原 蕃卿</p> <p>授勳三等授瑞寶章 海軍軍醫中佐 横尾 立男</p> <p>授勳二等授瑞寶章 海軍軍醫中佐 横尾 立男</p> <p>○昭和二十一年一月三十日發令</p> <p>授勳八等授瑞寶章 海軍書記 小川 友藏</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍書記 大和 一三</p>	<p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計少佐 藤原 純夫</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計少佐 赤塚 正平</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計少佐 芳野 泰禮</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計少佐 森山 光明</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計少佐 川淵 秀夫</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計少佐 川村 精一</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 松平 明兼</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 佐藤 隆博</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 田中知二郎</p>	<p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫少佐 逆井 保治</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫少佐 中村 榮一</p> <p>○昭和二十一年二月二十六日發令</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍書記 鈴木 泰次郎</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計少佐 杉山 泰藏</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍教員 宮城 能亮</p> <p>○昭和二十一年三月三十日發令</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫少佐 滋賀 秀正</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍技術大尉 羽生 遙</p> <p>授勳六等授瑞寶章 第二復員技師 木村 多平</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍司政官 中野 豊治</p>	<p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 西川 勇</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 猪瀬 猪一</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 重本 軍一</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 橋本 幸順</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 木城 誠治</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 大西 賴一</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 政門 清市</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 田中 英二</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 池本 新七</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 清水 清</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 上田 精三</p>	<p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 飯野 銀雄</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 岸川 兵次</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 野村 龍三</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 金澤 龍三</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 松見 茂雄</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 木庭 保喜</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍軍醫大尉 池田 賢一</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍主計大佐 井上保太郎</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 井上保太郎</p> <p>○昭和二十一年一月三十日發令</p> <p>授勳六等授瑞寶章 第二復員技師 吹野 宗一</p> <p>○昭和二十一年二月二十六日發令</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 中澤 和一</p> <p>○昭和二十一年三月三十日發令</p> <p>授勳六等授瑞寶章 海軍少佐 大木與曾吉</p>
--	--	--	--	--

復員廳第二復員局公報號外 (位 勳)

0237

復員廳第二復員局公報

第三五號

昭和二十一年九月十一日(水)

復員局文書課

部

長 〇 令 達

復二第二〇九號

昭和二十年内令第七號中次ノヤツニ改正スル。

昭和二十一年九月十一日

復員廳總裁

大湊掃海部ノ對掃海艦名ノ欄「片島、黒神」ヲ削ル。
大湊地方復員局及ヒ大湊掃海部ノ各項ヲ削ル。

(參照：昭和二十年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第二一〇號

横須賀地方復員局所管

掃海艦 掃特第十一號

同 掃特第十二號

同 掃特第十三號

同 掃特第十四號

吳地方復員局所管

同 海第四十八號

同 海第七十六號

同 海第七十七號

復員廳第二復員局公報 第三五號 昭和二十一年九月十一日

復二第二一一號

汽船 第五京仁丸

八三

復員廳

同 黒神

大阪地方復員局所管

同 掃特第二十一號

同 掃特第二十二號

大湊地方復員局所管

同 倉橋

同 屋代

同 神津

同 海第四十九號

同 掃第二十三號

同 掃第二百二號

同 石崎

同 掃特第十七號

同 掃特第十八號

右ヲ特別輸送艦ト改メル。
昭和二十一年九月一日

復員廳總裁

0238

同 第七福榮丸

右ヲ掃海船トシテ大湊地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年九月一日

復員廳總裁

復二第二二八號

昭和二十年內令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月五日

復員廳總裁

吳地方復員局ノ項「海第二十六號(佐)、同第四十號(佐)」ヲ削ル。

(參照 昭和二十一年五月廿日第二復員省公報第一〇號)

復二第二二九號

吳地方復員局所管

掃海艦 海第二百二號

同 海第五百五十六號

佐世保地方復員局所管

同 海第二十六號

同 海第四十號

右ヲ特別輸送艦ト改メル。

昭和二十一年九月五日

復員廳總裁

○ 通 牒

二復員第二八號ノ一三

昭和二十一年八月三十日

復員廳第二復員局人事部長

各 廳 長 殿

無線通信士資格銓衡檢定施行ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ遞信省ヨリ別紙ノ通通知ガアツタカラ關係ノ向

ニ周知方取計ヲハレタイ。

(別紙)

監第一六〇號

昭和二十一年八月十二日

遞信省無線通信士資格檢定委員長

復員廳第二復員局長殿

無線通信士資格銓衡檢定施行ニ關スル件

右ニ關シテハ自今左記ニ依リ施行ノコトトナツタカラ諒知ノ上

關係ノ向ニ周知方御取計ヲヒ願ヒタイ。

記

一 銓衡檢定ノ試問ハ毎三月、六月、九月、十二月ノ各十日(休

日ノ場合ハ順延)午前九時ヨリ遞信省電波局、各遞信局(除

東京遞信局)及ビ遞信管理部ヲ行ヒ其ノ他ノ日時及ビ場所ヲ

ハ原則トシテ之ヲ行ハナイ。

一 各申請者ニ對スル試問科目及ビ試問期日ハ當局ヲ銓衡檢定

0239

申請書ヲ受理シタ後決定ノ上本人ニ通知スル。
右指定期日ハ試問執行ニ關スル準備ノ都合等モアリ原則トシテ申請書類到着後凡ソ二ヶ月後ニ相當スル期日ヲ指定スル見込デアル。

一 申請者ニ於テ申請ノ際前各號ノ條件内ニ於テ本人ノ希望スル期日及場所ヲ指定シテ來タ時ハ原則トシテ其ノ希望日時及ビ場所ヲ當局ヨリ指定スル見込デアル。

一 試問成績ノ結果ハ及落ノ如何ニカカハラズ試問執行後凡ソ一ヶ月迄ニ各申請書記載ノ現任所宛ニ當局ヨリ書留便ヲ以テ通知スル。

一 試問不合格者ハ凡ソ六ヶ月經過後デナイト更ニ次ノ試問ハ受ケラレナイ。

○雜款

○郵便物發送先

特別輸送艦 海第二二六號 吳市下山手町
夏 月 同 吳地方復員局遞航部氣付
同 掃第二一號 佐世保郵便局氣付
同 海第一〇二號 同
同 海第五二號 佐世保市福石町
同 海第一九八號 同 佐世保遞航部氣付

同 葛 吳市復員局艦船遞航部氣付

青森地方世話部第二復員課 青森市大字造道字浪打葛三ノ二

○事務所
八月二十六日移轉 山口地方世話部第二復員課
山口市伊勢小路三五

九月五日移轉 長野地方世話部第二復員課
長野市箱清水舊城山館内

○殘務整理
自六月一日 南西方面 艦隊 橫須賀地方復員局
至十月三十一日 (麾下各所轄ヲ含ム) 遞航部補充課内
(主任整理員 島元南西方面艦隊副官他ニ各所轄一名)
自八月二十六日 仙崎掃海部 山口縣萩市熊谷町双葉幼稚園
至九月十日 内(電話呼出 萩 二七六番)

八月三十一日閉鎖 特別輸送艦 八 雲

九月五日閉鎖 敦賀掃海部(殘務整理ハ敦賀市大金五五
山本方、舞鶴掃海部敦賀基地ニテ行フ)

○電話
千葉局 一〇二七番 千葉地方世話部第二復員課

○轉官
昭和二十年 内務技手ニ轉官 海軍技手 長崎 惣次
七月十七日 大藏屬ニ轉官 海軍書記 植平 謙三
一月一日

六月十五日	地方事務官ニ轉官	海軍司政官	松田 暴治
同	厚生事務局(三)ニ轉官	同	荻阪 納
同	遞信技官(二)ニ轉官	同	山崎 登
同	大藏事務官(三)ニ轉官	同	宮西 義隆
同	同	同	菊田 正就
同	地方事務官ニ轉官	復員事務官	鈴木 實
七月十五日	大藏事務官ニ轉官	海軍司政官	高屋克二郎
同	厚生事務局(三)ニ轉官	同	柱田金太郎
同	朝鮮總督府屬ニ轉官	同	中村 三愛
同	厚生事務局ニ轉官	海軍書記	井上 敏雄
同	朝鮮總督府技手ニ轉官	海軍技手	末松 末雄
八月十五日	運輸技官ニ轉官	海軍技手	釜我 清

0241

復員廳第二復員局公報

第三六號

昭和二十一年九月十七日(火)

第二復員局 簿記課

○通 牒

二復經主第二號ノ九五

昭和二十一年九月十二日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長 殿

薪炭買付代金ノ支拂ノ取扱ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ大藏大臣官房會計課長カラ別紙ノ通り通牒ガアツタカラ承知セラレタイ。

(別紙)

藏會第九五四號

昭和二十一年九月四日

大藏大臣官房會計課長 正 示 啓 次 郎

第二復員局經理部長 殿

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂中

薪炭買付代金ノ支拂ノ取扱ニツイテ

首題ノ件ニツイテ別紙ノ通大藏次官ヨリ通牒ガアツタカラ取扱上遺漏ナキヤウ期セラレタイ。此ノ旨通牒スル。

(別紙)

官房秘乙第二一六號

昭和二十一年七月十八日

大 藏 次 官 殿

大 藏 次 官 團

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體ノ支拂中

薪炭買付代金ノ支拂ノ取扱ニ關スル件

國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體受拂規則第一條第一項第五號ニ依リ薪炭買付代金(瓦斯用薪ヲ除ク)ノ支拂ノ爲必要ナル經費ハ都道府縣ノ薪炭配給統制機關ニ對シ記名式小切手ニ依リ支拂ヲ爲ス場合ニ限り大藏大臣ノ指定スル封鎖支拂ニ非サル支拂ヲ爲シ得ル經費トシテ指定ニナツタカラ右通知スル。

二復補給部第七九號

昭和二十一年八月十四日

復員廳第二復員局補給部長

復員廳第二復員局經理部長 殿

各地方復員局補給部長

各地方復員局經理部長

燃料取扱ニ關スル件通知
物品會計規程ノ改訂(達第一一號二一五―七公報第八一號參照)並ニ復員廳第二復員局(地方復員局ヲ含ム)分課規程ノ

復員廳第二復員局公報 第三六號 昭和二十一年九月十七日

八七

0242

制定(復第二一〇號二一六一二〇公報第三號參照)ニ伴ツテ
燃料ハ別紙要領ニヨツテ取扱ハレ度イ。

(二)復補給部第七九號別紙)

燃料取扱要領

- 一 燃料ノ取扱ハ本要領ニヨル。
- 二 燃料ハ別表第一ニ定メルヤウニ区分シ、各品種ノ使用區分ニ從ツテ各廳ニ供給スル。
- 三 特別輸送艦船及ビ掃海艦船ノ行動ニ使用スル燃料ヲ行動用燃料ト云ヒ、ソノ他ニ使用スル燃料ヲ平常用燃料ト云フ。
- 四 地方復員局補給部長(以下地方補給部長ト云フ)ハ當該復員局管下ノ月間割當要領量ヲ第二復員局補給部長(以下本局補給部長ト云フ)宛前月ノ五日迄ニ着クヤウニ送付スル。(様式第一號)
- 五 本局補給部長ハ毎月ノ割當數量ヲ地方補給部長ニ通知シ、地方補給部長ハ右割當ニ對スル現品ヲ現地配給機關カラ受領シ、ソノ經費ハ需品費(日)、燃料(節)及ビ同(日)、保管運搬費(節)支辨トスル。
- 六 右割當數量中ニハ聯合軍カラ供給サレル特別輸送艦船行動用ノ重油並ビニ掃海艦船行動用ノ重油、潤滑油及ビ揮發油ハ含マナイ。
- 七 補給物件會計官吏及ビ補給物件取扱主任ハ燃料ヲ供給、還納又ハ保管轉換スルトキニハ夫々ソノ證券ヲ二通調製シ、コ

レヲ受入者ニ送付シ、受入者ハソノ一通ノ紙端ニ領收ト書キ記名捺印シテコレヲ領收票ニ代用スル。

- 八 特別輸送艦船ガ外地デ燃料ヲ購買シタトキハ補給物件取扱主任ハ供給票二通ヲ作り、コレニ賣主ノ納票又ハコレニ代ルモノヲ添ヘテ所屬補給物件會計官吏ニ送り受入ノ手續ヲスルトトモニ購買シタコトヲ所屬補給物件會計官吏ヲ經テ本局補給部長ニ通報スルモノトスル(様式第二號)
- 九 補給物件會計官吏ハソノ保管スル燃料ヲ相互間ニ保管轉換スルコトガ出來ル。
- 十 此ノ場合保管轉換ヲ受ケタ補給物件會計官吏ハソノ品種、數量、保管受月日ヲ本局補給部長ニ通報スル。
- 十一 補給物件取扱主任相互間ニ燃料ヲ供給シタ場合ハスベテ供給拂ノ整理ヲスル。
- 十二 補給物件會計官吏ガ燃料ヲ供給スル場合ハ左ノ各號ニヨ

0243

リ補給物件取扱主任ニ引渡スコトヲ立前トスル。

(イ) 艦船ニ行動用石炭ヲ供給スル場合ハ甲板渡又ハ艦船積込渡トシ、平常用石炭ヲ供給スル場合ハ艦内指定場所渡トスル。

(ハ)(ロ) 陸上廳ニ石炭ヲ供給スル場合ハ艦内指定場所渡トスル。艦船ニ容器詰ノ液體燃料ヲ供給スル場合ハ倉庫渡ヲ立前トシ容器詰デナイ液體燃料ヲ供給スル場合ハ舷側渡トスル。

補給物件取扱主任ハ前項ニヨリ引渡ノ詳細ニ關シテ豫メ補給物件會計官吏ニ協議スル。

十二 補給物件會計官吏ハソノ保管スル燃料中ニ品質ガ變化シテ固有ノ品種トシテ供給不適當ト認メラレルモノガ出来タトキハソノ品種、數量、來歴概要及ビ品質現狀ヲ所屬補給物件出納命令官ニ報告スル。

補給物件出納命令官ハ右ノ報告ヲ受ケタラバ補給物件會計官吏ニ品種ノ更訂ヲ指示シ組替ヲサシテコレヲ本局補給部長ニ通報スル。

十三 補給物件會計官吏及ビ補給物件取扱主任ハソノ保管スル燃料ニ亡失、損廢ガアツタトキ又ハ燃料ヲ棄却セネバナラナイトキハ證明書(様式第三號)ニ通リ所屬補給物件出納命令官ニ提出スル。

補給物件出納命令官ハ右ノ證明書一通ヲ本局補給部長ニ送付スル。

十四 己ムヲ得ナイ特殊事情ニヨリ燃料ヲ部外ニ拂下ル場合ハ地方補給部長ハ事前ニ拂下理由、品種、數量、時期、拂下先ニツイテ本局補給部長ニ協議シソノ通牒ヲ依ツテ實施スル。

十五 補給物件取扱主任ハソノ保管スル燃料及ビ容器中ニ不用品ガ出来タトキハ便宜ノ補給物件會計官吏ニコレヲ還納スル。

十六 補給物件會計官吏ノ燃料出納原簿記帳ハ左ノ要領ニヨル。

(イ) 別表第一ノ品種ニ分チ別冊トスル。

(ロ)(イ) 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スル。

(ハ) 「拂」供給額ノ關ニハ「特別輸送艦船用」「掃海艦船用」「各廳用」「其他」ニ區分シ記載スル。

(ニ) 受入先、供給先及使用區分ヲ變更シタトキ又ハ品種ノ相互換算ヲ行ツタトキハ摘要欄ニソノ旨ヲ掲記スル。

(ホ) 外地燃料直買ノモノニハ※印ヲ付ケル。

(ト)(ハ)(ホ) 減額ハ朱書スル。

(チ) 平常用燃料トシテ特別輸送艦及掃海艦船ニ供給シタ場合ハ摘要欄ニ(平)印ヲ付ケル。

(テ) 稱呼ハ石炭ハ廳、木炭カーバイト、グリースハ庭、ソノ他ハ立トスル。

十七 補給物件取扱主任ハ燃料受拂簿(様式第四號)及燃料拂

復員廳第二復員局公報 第三六號 昭和二十一年九月十七日

八九

0244

出簿(様式第五號)ヲ備ヘル。

十八 補給物件會計官吏ハ燃料出納狀況ヲ毎月一日、十五日現在ヲ所屬補給物件出納命令官ヲ經テ本局補給部長ニ通報スル(様式第六號)。

十九 補給物件取扱主任ハ年度末ニ燃料現況報告(様式第七號)ヲ所屬補給物件會計官吏ニ提出シ、補給物件會計官吏ハ年度經過後一ヶ月以内ニ燃料出納決算表(様式第八號)ヲ所屬補給物件出納命令官ヲ經テ本局補給部長ニ提出スル。但シ保管艦又ハ廢艦トナツク場合、補給物件取扱主任ハソノ都度右ノ燃料現況報告ヲ所屬補給物件會計官吏ニ提出スル。

附則

本取扱要領ハ昭和二十一年四月一日ニ遡リコレヲ施行スル。(別表添)

○雜款

○郵便物發送先

- 特別保管艦 董 横須賀市田浦郵便局氣付
- 特別輸送艦 對 馬 吳市吳地方復員局艦船運航部氣付
- 同 樺 大阪市住吉區柴谷町四番地
- 同 早 崎 藤永田造船所氣付
- 同 海第一四號 岡山縣玉野市玉造船所庶務課氣付
- 同 波 勝 佐世保市福石町佐世保運航部氣付
- 同 福岡市海岸通り二丁目
- 同 博多運航部氣付

同 際 岐 博多郵便局氣付

同 橫 東舞鶴郵便局氣付

近頃本連絡所宛ノモノハ長崎縣東彼杵郡針尾村ト解サレテ半ル向方多イ様デアアルガ自今必ズ長崎縣東彼杵郡南風崎郵便局氣付トサレ度イ。(佐世保上陸地連絡所)

○事務所

八月二十九日移轉 愛媛地方世話部第二復員課

愛媛縣伊豫郡郡中町大字灘町三丁目
豫讃線南郡中驛
伊豫鐵郡中港驛(下車徒歩約五分)

(電話郡中 三三番呼出)

九月二日開始 函館地方世話部小樽出張所
小樽市花園町小樽市役所内

○轉官

六月十五日 地方技官ニ轉官 海軍技手 大浦 正夫

(二)復補給部第七九號別表第一

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

區別	石		炭		木	油重		油質輕				潤滑油					
	煉	塊	塊	塊		C	B	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮
品	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭
略	煉	煉	塊	塊	木	B	C	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮	揮
稱	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭	炭
記號	B	C	C	C	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
呼	應	應	應	應	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
使	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	特別輸送艦船及掃海艦船用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用	工業用
用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用
區	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用
分	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用	及掃海艦船用
Gr	S	O ₃	O ₂	O ₁	I ₃	I ₂	I ₁	K	P	A	G	L	I ₁	モ	ク	カ	バ
立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立	立
防球軸受、コ	補助機縮ポン	製氷機及冷凍機	五三二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二
水作業用	外部用	用	内火機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用	電機外部用
	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用	内部用
	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用	揚鏟機軸受用

(備考) 本表以外ノ在庫品ハ類似品ニ品名更訂ノ上組入レルコト。

0246

(品 種)

(稱 呼)

年 月 日	摘 要	證 票 番 號	受 込 額	拂 出 額	残 額

(二復補給部第七九號様式第五號其ノ二)

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

0248

文書番號

昭和 年 月 日

第二復員局補給部長殿

横須賀地方復員局補給部物品會計官吏氏名圖

燃料現狀報告

(月 日現在)

品種	稱呼	保管場所	現在高	前期中 受入高	後期中 拂出高	記事	揮發油			炭			計	
							一號揮發油	二號揮發油	三號揮發油	一號塊炭	二號塊炭	三號塊炭		
煉炭	屯	浦賀												
一號塊炭	同	同												
二號塊炭	同	久里濱												
三號塊炭	同	安浦												
コークス	同	同												
計	同													
一號揮發油	立													
二號揮發油	同													
三號揮發油	同													
計	同													

備考

- 一 受入高及拂出高ハ左ノ項目ニ依リ記事欄ニ區分記載スルモノトス。
各月割當ニ依リ石統ヨリ購入ノモノ(購)
保轉ニ依ルモノ(保)
尙還納セルモノ(還)
- 二 右ノ外記事欄ニハ左ノ事項ヲ記載スルモノトス。
イ 保轉ニ依リ送還中ノ數量及説明
ロ 其ノ他必要ナル事項
- 三 現在高、受入高及拂出高ハ整理終了ノモノヲ記載スルコト。
但整理方遅延シ實際ノ現在高ト甚シク相違シテキル場合ハ其ノ旨記載スルコト。
- 四 單位ハ石炭ハ「トリス」カーク「カーク」木炭ハ「トリス」他ハ立トシ小數點以下ハ切捨デルモノトス。
- 五 品種ハ別表第一ノ區分ニカ、ワラズ細目ニ分類シ掲上スルコト。

（二復補給部第七九號様式第二號）

（昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報）

文書番號

昭和 年 月 日

復員廳第二復員局補給部長殿

外地燃料直接購買通報

………地方復員局補給部物品會計官吏 氏 名 〇〇

品種	呼稱	數量	價格		購買先	購買		記事
			單價	代價		月日	地名	
								代價支拂の有無

（備考）受拂簿ニ登記シテ上發送スルコト。

0250

(二復補給部第七九號様式第三號)

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

文書番號

昭和 年 月 日

地方復員局補給部物品會計官吏 氏 名 ㊦
(取扱主任)

地方復員局補給部物品出納命令官 氏 名 殿

燃料亡失(.....)證明書

左記物品ハ昭和 年 月 日.....ニ依リ保護スルノ術ナク.....ニ依リ亡失(.....)セリ

品	種	稱	呼	數	量	摘	要
						年 月 日	地方復員局ヨリ受込ノ分

右ノ亡失(.....)ハ.....ト認メ之ヲ證明ス

昭和 年 月 日

地方復員局補給部物品出納命令官 氏 名 ㊦

0251

（二復補給部第七九號様式第百號）

（昭和二十二年九月十七日復員廳第二復員局公報）

昭和年度

燃料受拂簿

（備考）

- 一 品種別ニ口座ヲ設ケルコト
- 二 稱呼ハ石炭、木炭、グリースハ垢トシ其ノ他ハ立トス
- 三 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スル事

0252

昭和 年度	
燃 料 拂 出 簿	
(備考)	
品種別ニ口座ヲ設ケルコト	
艦 船 名	

(二復補給部第七九號様式第五號)

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

0253

(二復補給部第七九號様式第七號)

(昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報)

昭和 年度

燃 料 現 況 報 告

(備考)

- 一 品種ハ別表第一ノ通ニ區分スルコト
- 二 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スルコト

應 名

文書番號

昭和 年 月 日

.....補給物件取扱主任 氏 名 印

.....補給物件會計官吏氏名宛

0255

昭和 年度

燃 料 出 納 決 算 表

石 炭

(備 考)

- 一 本表ハ別表第一ニ定メル通りニ區分シテ調製シ且品種毎ニ口座ヲ設ケルコト
- 二 行動用トシテ聯合軍ヨリ受領シタモノハ別冊トシテ記載スルコト
- 三 摘要欄ニハ、(イ)年度初頭在庫額、(ロ)當該年度受入總額、(選納、保轉受ハ朱書スル) (ハ)特別輸送及掃海艦船用ニハ役務期間、行先等ヲ摘記スルコト

…… 地方復員局補給部

文書番號

昭和 年 月 日

……地方復員局補給部長 印

復員廳第二復員局補給部長宛

0256

品 種	受 込 額	拂 出 額	残 額	摘 要

（二復補給部第七九號様式第八號其ノ二）

（昭和二十一年九月十七日復員廳第二復員局公報）

0257

塊 炭			
供給別	供給先	供給額	摘要
特別輸送艦船	艦 船 名		
掃海艦船	艦 船 名		
各 應	應 名		
其 他	部外拂下先、保轉 拂先、亡失、損廢 等.....		
	合 計		

(二復補給部第七九號様式第九號)

(昭和二十一年六月十七日復員廳第二復員局公報)

0258

復員廳第二復員局公報

第三七號

昭和二十一年九月十九日

第二復員局文書課

21.9

○令 達

復員第二四二號

昭和二十年内令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月十二日

復員廳總裁

吳地方復員局ノ項ヲ削ル。

復員第二四八號

昭和二十一年九月十八日第二復員省公報第二〇號

元軍艦 長 鯨

元第五十九號海防艦

右ノ特別輸送艦トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 海第八號

右ノ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十一年九月七日

復員廳總裁

復員第二五一號

元第十六號掃海特務艇

右ノ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メル。

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 掃特第十六號

右ノ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

復員第二五二號

昭和二十年内令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

下關掃海部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)二隻」

ヲ「雜役船(曳船)五隻」ニ改メル。

徳山掃海部ノ項ヲ削ル。

(參照 昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第二〇號)

復員第二五三號

復員廳分課規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

復員廳第二復員局公報 第三七號 昭和二十一年九月十九日

九一

0259

別紙第二第二十八條ノ表中吳地方復員局ノ項掃海部ノ欄「徳山」ヲ削ル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

○通 牒

復二第二五四號

復員廳地方復員局定員表(内譯)中次ノヤウニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月十五日

復員廳第二復員局長

吳ノ部中徳山掃海部ノ項ヲ削リ「二八七」ヲ「二六七」ニ、「九五」ヲ「八八〇」ニ、「二一、五九五」ヲ「一、五一〇」ニ、合計ノ項中「一、〇七五」ヲ「一、〇五五」ニ、「三、二九六」ヲ「三、一八一」ニ、「六、一八八」ヲ「六、一〇三」ニ改メル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

訂公濟

復二第二五五號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤウニ改正セラレタ。

昭和二十一年九月十五日

復員廳第二復員局長

吳地方復員局ノ項中「三八」ヲ「一八」ニ、「三一九」ヲ「二〇四」ニ、計ノ項中「二六八」ヲ「二四八」ニ、「二二、〇四八」ヲ

「九三三」ニ改メル。

(參照 六月十九日第二復員局公報)

○難 款

○殘務整理

九月十日閉鎖 舊海軍施設本部(爾後ノ連絡ハ東京都芝區田村町日産館内復員廳第二復員局資料整理部ニテ行フ。但シ、契約關係ハ第二復員局經理部契約課ニ連絡サレタイ)

○轉官

四月十五日	内務技官ニ轉官	第二復員技官	黒澤喜代治
同	地方事務官ニ轉官	第二復員事務官	田澤 實
同	同	同	吉田 宏
六月十五日	逓信事務官ニ轉官	海軍司政官	竹内松之助
同	内務事務官ニ轉官	同	河野 弘道
同	逓信技官ニ轉官	海軍技師	外ノ池俊郎
七月十五日	厚生技官ニ轉官	海軍司政官	後藤亮三郎
八月十五日	運輸技官ニ轉官	海軍技師	辻 芳彦

0260

復員廳第二復員局公報

第三八號

第二復員局文書課

○令 達

復二第二五八號

當分ノ開徳山掃海基地ニ配スル人員ヲ次ノヤウニ定メル。

昭和二十一年九月十五日

復員廳總裁

三級事務官 三十三人 (内一人ハ指揮官ニ充テル)

本人員ハ下關掃海部ニ臨時増置スル

本人員ハ下關掃海部ニ臨時増置スル

(参照 七月二十七日第二復員局公報復二第一二二號)

(掃海基地設置ノ件)

復二第六七號

昭和二十年内令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年九月二十日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「驅潜特第百七十四號、同第百七十五號」ヲ「驅潜特第百七十五號」ニ改メル。

(参照 昭和二十年十二月十八日第二復員省公報第二〇號)

復員廳第二復員局公報 第三八號 昭和二十一年九月二十三日

復二第二六八號

元第百七十四號驅潜特務艇

右ヲ掃海艦トシテ奥地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年九月二十日

復員廳總裁

復二第二六九號

元敷設特務艇 加 徳

右ヲ特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定メル。

佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 加 徳

右ヲ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十一年九月二十日

復員廳總裁

○通牒

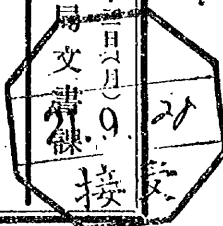
二復總第二五七號

昭和二十一年九月十八日

復員廳第二復員局總務部長

各廳長宛

九三



0261

<p>調査部</p>	<p>人事部</p>	<p>總務部</p>	<p>部課名</p>	<p>戰犯容疑者取扱中央分擔ニ關スル件照會 戰犯容疑者、聯合軍側ヨリ指令セラレタ戰犯關係證人及ビ參考人(舊海軍々人、軍屬)ノ取扱要領ハ昭和二十一年八月一日附二復總第一四九號ニヨツテ定メラレタガ本件ニ關シ第二復員局ニ於ケル之ガ事務分擔ハ左ノ通り定メラレタカラ承知アリタイ。</p>
<p>分 擔 事 項</p>				
<p>一 部内連絡及ビ統制ニ關スルコト 二 部外接渉ニ關スルコト 三 部内勤務者デアアル容疑者ノ身柄保護ニ關スルコト 四 其ノ他、他部ノ所掌ニ屬セザルコト</p>				<p>文書課</p>
<p>一 聯合軍側ノ要求ニ依ル戰犯關係事件ノ調査及其ノ資料蒐集ニ關スルコト 二 戰犯容疑者入(出)所ノ世話ニ關スルコト 三 戰犯容疑者及其ノ證人、參考人ノ名簿作製ニ關スルコト 四 戰犯法廷ニ關スルコト</p>				<p>備考 關係各部ハ相互ニ連絡ヲ密ニシ協力スルモノト</p>
<p>一 戰犯容疑者、其ノ證人、參考人ノ履歷、身元居所ノ調査及身分ノ取扱ニ關スルコト 二 戰犯容疑者ノ家族トノ連絡ニ關スルコト 三 戰犯容疑者判決又ハ處刑後ノ人事處理ニ關スルコト</p>				<p>一 戰犯容疑者及其ノ證人、參考人ノ宿泊給養ニ關スルコト 二 證人、參考人ノ出頭(呼出)及其ノ世話ニ關スルコト</p>

0262

復員廳第二復員局公報

第三九號

昭和二十一年九月二十七日(金)

第二復員局 文書課 技

○令 達

復二第二七一號

元軍艦 北 上

右ノ特別輸送艦トシテ依世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年九月二十二日

復員廳 總裁

○通 牒

復二第二七七號

昭和二十一年九月十九日

復員廳第二復員局長

關係各廳長 殿

内地歸還海軍文官、囑託者及ビ徵用員解員(解除)時増俸報酬増額廢止ニ關スル件申進

外地カラ歸還シタ海軍文官、囑託者及ビ徵用員ハ左記令達ニヨリ免官又ハ解囑(解除)ニ際シ増俸又ハ報酬増額ヲ行ツテキタガ、自今コレヲ行ハナイコトニナツタカラ承知サレタイ。

記

復員廳第二復員局公報 第三九號 昭和二十一年九月二十七日

九五

一 昭和二十年八月三十日官房機密第三〇二號(昭和二〇、九、三)電
海軍文官終戰處理ニ關スル件 (海軍公報參照)
一 昭和二十年八月十八日海軍機密第一八一四五〇番電
囑託者及徵用員解囑(解除)ニ關スル件 (昭和二〇、九、六) (海軍公報參照)

二 復入扶第七號ノ四八

昭和二十一年九月二十五日

復員廳第二復員局人事部長

各地方復員局人事部長 殿

靖國神社合祀關係書類書式改正等ノ件通知

靖國神社合祀事務ヲ急速ニ處理スル趣旨デ、提出書類ノ書式等ヲ左記ノ通り改メ又ハ一部添付書類ヲ省略スルコトニサレタカラ了知サレタイ。

記

- 一 靖國神社合祀海軍軍人軍屬名簿(甲、乙號共)ヲ別紙ノ通り改メル。
- 二 一連名簿ハ廢止スル。
- 三 戦死、戦傷死及ビ戦病死者ニ對シテハ、證憑書類ノ添付ヲ略ス。
- 四 戦死、戦傷死及ビ戦病死者ハ甲號靖國神社合祀名簿ニ、ソ

0263

ノ他ノ死歿者ハ乙號靖國神社合祀名簿ニ記載スル。

一 合祀者餘銜範圍ハ昭和十九年官房人機密第一六二九號ニ準據スルコト。但シ昭和二十年九月二日迄ニ死歿シタ者トスル、同月三日以後ノ死歿者ハ別途詮議サル。

二 本名簿提出後生還者アツタ場合、ソノ他合祀不適當ナ事由判明シタ場合ハ、ソノ都度迅速確實ニ通知スルコト。

三 舊書式ヲ提出準備シタ分ハ、ソノ儘提出シテモ差支ヘナイ。

四 合祀名簿ヲ重複提出シタ事例ガアルガ、重複合祀ノ因トナルカラ斯様ナコトノナイヨウニ充分注意サレタイ。

(別紙添)

○雜 款

○郵便物發送先

特別輸送艦 輸第二〇號 吳市下山手町吳運航部氣付

同 海第六七號 佐世保市福石町佐世保運航部氣付

同 海第三七號 大阪市東區北濱二ノ一九 大阪地方復員局留置

同 若 應 佐世保郵便局氣付

特別掃海艇 第一九號 舞鶴市舞鶴運航部留置

掃海母艦 新 南 十月十五日迄秋田縣船川郵便局氣付

十月十五日迄山形縣酒田郵便局氣付

○事務所

九月五日開始 吳地方復員局補給部

燃料關係事務ハ吳市狩留賀町森澤別荘(吉浦隧道西口海岸側)倉庫内

九月十日廢止 下關上陸地連絡所

○殘務整理

自九月二十日 小スング民政部殘務整理班 第二復員局人事

至十月二十日 部内

○轉官

八月二十九日 遞信技官(專任) 復員技官兼 三條 善一

○死亡

